

こころに吹く風は…＜カウンセリングルーム便り＞



ご入園・ご進級おめでとうございます。

桜満開の時を迎えての入学、そして進級を祝うことができた2024年の春。様々な世相を反映しつつも、「さくら」は変わらずに優しく、温かく、麗しく、私たちを見守ってくれているようです。子どもたちのかけがえのない「笑顔」が何よりも輝いて、ずっとずっと続いていきますように、と桜を見上げながら祈ります。本年度も、どうぞよろしくお願ひ致します。

幼児期に必要なモンテッソーリ教育？

書店に並ぶ多くの育児書の中で、最近よく目にする実践本の中のひとつに「モンテッソーリ」の教育本があります。「子どもはすべてのことができるように生まれてくるのです。もし、できないことがあるとすれば、物理的に不可能な環境にあるか、どうすればいいのか、やり方がわからないだけなのです。」と、いい方を変えれば、「環境を整え、やり方さえ教えれば、子どもは何でも自分でできるはず。」つまり、「自分一人でするように手伝う。」というのが本質であるとのこと。従来の「子どもは何もできない存在なのだから、親や教師の言うとおりにすればいい。」という教育観とは大きくかけ離れています。そこが最大の魅力なのでしょう。

それにしても、わざわざ〇〇教育と名称を付けなくとも、子どもたちの行動をじっくり眺めていると、その愛らしさと可能性の大きさにわくわくと胸を躍らせる大人たちは多くいるのではないでしょうか。そしてわが子には「幸せいっぱい的人生を歩んでほしい。」と、幼いうちから先まわりして知識を詰め込む「早期教育」に走ったりもしてしまいがちです。

子どもの成長段階をよく理解し、適切な環境を整えていく。そして何をいつ与えるのか、そのタイミングがとても重要であることを肝に据えて、明るく楽しく「笑いながら」子どもたちの成長を見守っていききたいものですね。

アドラー心理学という言葉を知っていますか？

ウィーンに世界で最初に児童相談所網を作り、育児と教育の実践に障害を捧げたオーストリアの精神科医で心理学者であったアルフレッド・アドラーという人を知っていますか？ こちらも「アドラー心理学」の名称でたくさんの本が書店に並んでいます。アドラー心理学では、「力で子どもたちを押さえつけるのではなく、全幅の信頼をもって子どもたちに接する」ことを教えてくれます。

浅間台幼稚園では、このアドラー心理学の理論に沿って、ほぼ10年ほど前から講師の先生をお招きして（坂本州子先生）保護者の方々への「子育て講座」や先生方や職員の方々との研修会（事例検討会など）を実施して参りました。今年も「子育て講座（保護者向け・全2回）」を予定しております。後日詳細についてはお知らせいたしますので、どうぞ奮ってご参加下さい。子どもたちの「笑顔」のために。

- ★ カウンセリングルームをどうぞお気軽にご予約ください。（毎週木曜日・予約可能時間 9:00～16:00）
- ★ 一緒に子どもたちの笑顔をつくっていきましょう。